

大宮西高等学校の関田でございます。前校長から引き継ぎまして、本年度、インターアクトクラブ顧問教師会の会長を務めさせていただいております。開会にあたりまして、僭越ながら一言ご挨拶申し上げます。

本日は、韓国で中学生・高校生に日本語を教えていらっしゃる49名の先生方と、インターアクトクラブ高校生との交流会に出席する機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

ご案内のとおりインターアクトクラブは、ロータリークラブのご支援をいただきながら、奉仕と国際理解に貢献すべく取り組んでいる、主に高校生の団体です。

韓国との相互理解に向けても、ロータリークラブのご支援で長年にわたり生徒を韓国に派遣したり、韓国の高校生をお迎えしたりして、交流を図っております。昨年度も本校において、7月と1月に合わせて13名の韓国の高校生をお迎えし、また3月には9名の本校生徒を韓国に派遣いたしました。

また、本校では昨年度から、韓国から埼玉大学に留学している大学院生を講師に迎えて、週に1日だけですが韓国語講座を実施し、インターアクトクラブの生徒が学習しております。ただ、まだまだ拙い韓国語で本日の交流においては遠く及びませんので、本日は日本語で交流していただけたらありがたく存じます。

ところで、私の大学時代のゼミの恩師が実は韓国人でいらっちゃって、私の中の教育学の礎を築いていただきました。しかし、韓国語と日本語と英語を巧みにお遣いになられる先生でしたので、幸か不幸か、私は韓国語を全く遣わずに済ませてしまいました。卒業してもう30年以上が経ちますが、今週末に久方ぶりにご挨拶に伺うことになっており、本日のことと併せてこれもまた何かの縁だなと感じております。

また、日本語国際センターにおかれましては、これもたまたま私が会長を務めます埼玉県国際教育研究協議会による英語・日本語スピーチコンテストの審査員を毎年お願いしております。今年も6月に教師研修チーム長の姫田美保子様と、専任講師の篠原亜紀様にお世話になったところでございます。これも縁です。

昨今の日韓情勢においては、政治、経済、教育などいくつかの分野で困難な課題もございますが、こうした小さな縁を大切に、このような民間レベルでの日常的な交流を通して、隣国としての信頼と友好をこれまで以上に深めていけることを心から願うものです。

本日もご参会の皆様におかれましては、本日の交流会を、国境を越え、世代を超えた有意義な交流の場にしていただけますよう祈念申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。